

OSAKA

かいなん

議会だより

近つ飛鳥小学校3年生議場見学

令和7年6月定例会議

令和7年7月臨時会議

これが聞きたいねん一般質問 P 2~4

議決結果など P 5

No.168

2025.9

発行／河南町議会
編集／広報常任委員会



高田 伸也 議員
たかだ しんや



旧かなんこども園の

老朽化した施設の改修は

問 避難所への分散備蓄を見据え、新たに備蓄される高機能な災害用トイレは、重量が50kg以上もあることから、事前に、全避難所31か所に配備すべきだと思われるが、いかがか。

答 町では、2箇所の防災倉庫に保管する一元管理方式を採用しているが、この水洗トイレの運搬には時間を要することから、各避難所に2基ずつ整備す

る予定である。

問 長年に渡り、ボランティア活動頂いた方々に対し、町として何らかの表彰を頂けないか。

答 活動内容などを踏まえ、感謝状の贈呈などを検討したい。

問 役場周辺の再編計画にあるバスロータリーやコミュニティ広場に、現在、大阪関西万博に設置されていたユニークなバス停や遊具を誘致できないか。

答 町として、有効活用できるものは、積極的に活用したい。

問 大宝地区の「旧かなんこども園」は4月より、民間企業へ貸し出されたが、その賃貸料は、既に雨漏りし老朽化している施設などの改修費用などに充てる

べきだと思うが町の見解は。

答 貸付物件の修繕に関して、主要構造体は、貸付人の町が負担となっている。貸付契約の規定に基づき対応したい。

問 本町の未来に向けた森田町長の思いは。

答 少子高齢化・人口減少が進む中、持続可能なサービスの提供は財政的にも課題であり、人材の確保、地域の活性化、組織のあり方など、南河内地域全体で、より良いものを見出したい。

● 災害時の停電を想定して、医療的ケア児（人工呼吸器や胃ろうなど医療的ケアを要する児童）への非常用電源購入費の助成など、支援策の検討を要望。



ポープ三恵 議員
ポープ みつえ



オーストラリア中学生異文化体験事業はどうなったか

問 リチウムイオン電池はどのように回収しているか

答 リチウムイオン電池などの回収方法は、毎年3月に配布するチラシや町HPで案内している。電池やモバイルバッテリーは発火の危険があるため、取り外して住民生活課窓口や家電量販店等のリサイクルボックスへ。今後も周知に努める。

問 自治会未加入者へはどのよ

うに対応しているか

答 核家族化や生活様式の多様化により地域でのつながりが希薄になり自治会加入率も全国的に減少している。町では自治会を地域福祉や災害対応に欠かせない重要な組織と位置づけ、運営助成や広報での情報発信などを通じて今後も加入促進に取り組んでいく。

問 大阪関西万博ではどのように河南町をPRしているか

答 大阪の祭EXP02025年春の陣では、寛弘寺地区・中地区のだんじり曳行、「たべなはれ」ゾーンでは河南町のイチゴを使ったジェラートやケーキを販売。町の魅力をPRできた。

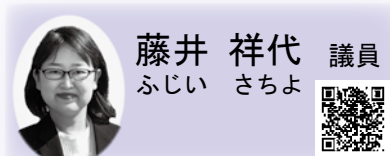
問 カナちゃんイラストはどのように利用促進しているか

答 より積極的にカナちゃんのイラストを町のPRツールとして活用するよう努める。

問 オーストラリア中学生異文化体験事業はどうなったか

答 今年度は中学2・3年生を対象に募集を行ったが、応募者数が定員に満たなかったため中止となった。来年度の実施に向け、アンケート調査を実施。中学1年生を対象に含める案についても検討していく。

● 万博サーキュラーマーケットミヤク市、『大阪ウィーク 夏』での河南町ブースについてはYouTubeにて公開中。



藤井 祥代 議員
ふじい さちよ



鳥獣による

田畑への被害の対策は

問 中学校の制服代に補助金を出す予定はあるか。

答 中学校の制服などについては、3年間通じて着ることができる品質であるため、現時点では補助金を設ける予定はない。経済的理由で就学困難な生徒については就学援助制度において入学に際し援助を行っている。

問 最近、住民からイノシシやモグラによる田畑への被害の相

談が寄せられている。農作物被害防止事業による予防策への補助以外に、鳥獣被害による補助を出す予定は。また、国や府に対して農作物の鳥獣被害に対する補助金の要望はしているか。

答 予防・防護に対する補助以外には、有害鳥獣捕獲に要する経費について、国の鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し、イノシシ1頭当たり成獣7000円、幼獣1000円を助成する事業を令和4年度から実施している。現在、有害鳥獣が原因で農作物が被害にあった場合の補助制度はなく、町単独で新たに制度化するのは、厳しい財政状況の中、困難である。今後も被害が拡大

してくるようであれば、農作物及び農地の被害などに対する補助・助成について、国・府へ要望していきたい。

問 子どものショートステイ（短期入所生活援助）について、今後新たに委託契約をする予定はあるか。

答 現在、児童養護施設の羽曳野荘及び高鷲学園、母子生活支援施設の四天王寺悲田院太子乃園の3施設と契約している。現状は上記の委託契約機関で対応できているが、より近場での施設の確保については検討が必要だと考えている。今後、新たに契約する施設の確保に取り組んでいく。



中川 博 議員
なかがわ ひろし



河南町三世同居・近居支援 補助金交付要綱は

問 補助対象者の要件と趣旨が合致しないのでは。

答 必要に応じ改正など検討。

問 子世帯の定義に「いずれも」40歳未満の夫婦世帯を「いずれか」に変更は。

答 40歳未満を一定のラインと定め、この基準で。

【町道の道路補修について】

問 市街地における道路の補修は40ポイント以上が対象。さく

ら坂4丁目の道路は、57.3と61.4で高いのになぜ補修されないのか。

答 路線や交差点間の一定規模で行うため、劣化ポイント通りにならないケースがある。

【将棋などを活用した学習について】

問 将棋を学んだ児童の方が進学塾生よりテストの平均点が高く、思考力を養うとの記事があった。教育委員会の考えは。

答 河南町でも囲碁講座行い一定の向上は見られ、将棋の記事も参考にさせて頂く。

【带状疱疹ワクチン接種助成について】

問 ネイチャーに、带状疱疹ワ

クチンに認知症発症予防効果があるとの研究データが発表された。その内容は。

答 認知症リスクが20%低下したとの内容ですが、ただし、ワクチンが認知症を予防するかは明らかではない。

【子育てアプリについて】

問 子育てアプリの必要性で、世田谷区のように公式ラインの活用しては。

答 町の公式ラインを活用して情報発信に努めたい。

【自治体職員について】

問 採用試験の倍率の低下、離職者の増加の対応は。

答 他団体の事例や情報交換を行い調査研究したい。



大門 晶子 議員
だいもん あきこ



子どもたちの安全と権利を どう守るのか

問 大阪府警発表の自転車事故は2年連続でワーストワンの発生率となっているが、本町の自転車事故の状況は。

答 令和4年以降では、操作誤りや滑ったケースが11件。バランスを崩したのが1件。車との接触事故は2件で軽症。転倒の骨折などもある。

問 安全対策として、スクールバスの乗車を望む声があるが、

検討していただけるのか。

答 中学校の登下校については、原則徒歩で、一部自転車通学を許可し、バス通学や送迎も可としている。バス乗車については、今後、町長部局と協議してまいりたい。

【こどもの声を尊重する社会を】

問 子どもの安全の課題は、どの地区も保護を必要としているため、地区ごとで区別せず利益を優先される権利が加わることで、子ども全体の権利が守られる。「子育てをするなら河南町」をさらに進めるために、その本質を職員が理解し、諸課題の解決に向け検討してほしいが、教育長のお考えは。

答 こども基本法の理念は常に肝に銘じ、河南町教育大綱においても基本理念としているので、子どもたちの声を聞くことの大切さは教職員や事務局職員などにも伝えている。

問 町長は子どもたちの登下校や高齢者の病院通い等、朝夕の地域公共交通の充実に向け、今後どのような施策を展開されるのか。町長の統括を。

答 子どもの安全対策や交通問題は、非常に大切で、住民の皆さんが安心して暮らせる重要なインフラ整備なので、あらゆる選択肢を考え、住みよい安全なまちづくりを目指したい。



力武 清 議員
りきたけ きよし



近つ飛鳥小学校

階段錆止めの対策を

問 学童保育教室への通路の延伸を。

答 スペースなどの課題があり対応することは難しい。強い雨の日は、校舎内から学童保育教室に通う事ができるように学校と協議する。

問 加納・寺田地区から通って太子に抜ける小山田水路について、年中水漏れの状態になっている。原因の調査と対策を。

答 今後、原因を調査し、対策を検討していく。

問 補聴器購入への補助制度を。大阪府内においても、20の自治体（46%）まで実施されてきている。

答 認知症の予防、健康を維持して介護にならないように、この事業についても検討する。

問 こども園の熱中症対策は。

答 小まめな水分補給と冷房を程度に利用、日中の暑い時間は外に出る事を控える、遮光ネットを設置するなどである。

問 小・中学校のウォーターサーバー・の設置を。

答 小学校は設置していないが水筒を飲み切った児童は職員室

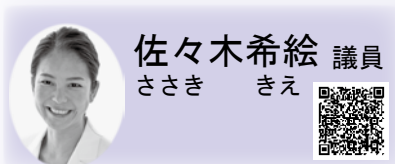
で補充している。中学校ではウォーターサーバーを1台設置している。

問 高齢者への熱中症への対応は。

答 高齢者は、暑さへの感覚機能や調整機能が低下していることから、特に注意が必要と考えている。予防チラシを窓口や介護予防教室、居宅介護支援事業所に配架、配布している

問 （仮称）熱中症対策委員会を立ち上げ予防や注意喚起を。

答 熱中症への注意喚起や予防対策については、町全体で連携し、防災行政無線、ホームページ、各種教室などを活用して取り組んでまいりたい。



佐々木希絵 議員
ささき きえ



放課後児童クラブ

開所時間の拡大を

問 長期休暇中、放課後児童クラブの開所時間の見直しが必要では。

答 朝7時からの開所を検討。

問 保育料の値上げも課題になりうるが、保護者との協議は。

答 一方的に制度を押し付けることはない。

【外国人差別の制度解消を】

問 幼保無償化から外国人学校の幼保施設が除外されているこ

とについては、日弁連からも差別であると批判されている。町の対応は。

答 対象の子どもに独自の補助金制度を設けている。周知をしていないので利用実績はない。

【芸術の力で空き家対策を】

問 国際芸術祭が成功した瀬戸内の島々では、廃校が再開するほど移住者が増えている。町も芸大と連携しては。

答 芸大と協議する。

【米価を安定させる対策は】

問 町では、米の作付け面積が5年で7割程度に落ち込んでいる。このままでは米価が安定しないのでは。

答 将来の農地利用の姿を明確

にした地域計画を策定した。浮き彫りになった課題へ対応していく。

【性と生殖に関わる権利と健康】

問 予期せぬ／望まない妊娠への支援は。

答 府内に相談窓口がある。

問 近隣のアフターピルに関する情報を整理しては。

答 一部薬局で試験的に処方箋なしで販売しているが、町内の薬局では対応していない。近隣の医療機関の情報をまとめて公表する。

問 困難女性支援法で明記されている自治体の役割への見解は。

答 相談窓口の一番手として、支援に繋げていくか研究する。



藤野 裕子 議員
ふじの ひろこ



こども食堂の立ち上げ支援と町の関わりは

問 町内でのこども食堂の立ち上げ状況や相談件数は

答 立ち上げの相談は令和5年度から昨年度の2年間で4件あり、今年度は立ち上げを支援したいという人も含め4件ある。NPO法人主催のお楽しみ行事を含めたこども食堂が開催予定。

問 富田林市のような補助制度の創設や、モデル地区での試行的支援の考えは

答 地域での子どもの居場所づくりの構築に向け、他市での取り組みを参考に研究していく。国や府からの支援に関する情報の提供や立ち上げ時や運営を継続していく上での課題への相談対応など、子ども食堂の支援について検討してまいりたい。

問 「小1の壁」に関する実態把握と支援策の検討は

答 子供がこども園から小学校に上がることで仕事と子育ての両立が難しくなる「小1の壁」については全国的な問題と認識しており、国や近隣市町村の動向を注視していく。

問 豊中市のような登校前の校門開放や一時的な受け入れと

いった対策を試行的に導入する可能性は

答 検討課題が多く、まずは先進事例の収集や近隣や国の動向の把握などの、調査・研究から取り組んでまいりたい。

問 大阪・関西万博子ども招待事業の申請状況と今後の広報の取り組みは。

答 6月10日時点での申込者数は、対象人数に対して14.5%で、まだ多くの方が申込みされていない。引き続き町のホームページやSNSなどを活用し、町の万博での出店情報や子ども招待事業の案内を行い、事業の推進を行ってまいりたい。

定例会議の日程

9月3日 開会

9月4、5、8日 予算・決算
常任委員会

9月19・22日 一般質問

9月24日 閉会

※日程は、変更になる場合があります。

今月号の表紙について

7月1日に、近つ飛鳥小学校3年生が議場見学に訪れました。普段見る機会が無い場所を訪れた児童たちは、興味深げに辺りを見渡していました。何人か、議場を裁判所と勘違いしている児童がおり、先生から説

明を受けていました。

また、短い時間でしたが、自由時間では、マイクを使って議長や町長になりきったりして楽しんでいました。

こういう機会を通じて、議会を知るきっかけになればと思います。（広報委員）

**議会だよりを
ホームページでも
お読みいただけます**

現在、議会だよりは町の広報紙との合併号で掲載しています。町ホームページでは、議会だよりだけ抜粋した記事のデータも掲載していますので、そちらでもお読みいただくことができます。



審 議 結 果

6月定例会議

各議員の表決 (○…賛成、●…反対、△…除斥、／退…退席、欠…欠席、一…議長)		審議結果	佐々木希絵	藤野裕子	高田伸也	ポープリ三恵	藤井祥代	河合英紀	中川博	大門晶子	力武清	浅岡正広
件名												
河南町税条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和7年度河南町一般会計補正予算（第1号）		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和7年度河南町下水道事業会計補正予算（第1号）		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
財産の取得（河南町GIGAスクール構想（第2期）端末機購入）について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

7月臨時会議

各議員の表決 (○…賛成、●…反対、△…除斥、／退…退席、欠…欠席、一…議長)		審議結果	佐々木希絵	藤野裕子	高田伸也	ポープリ三恵	藤井祥代	河合英紀	中川博	大門晶子	力武清	浅岡正広
件	名											
河南町報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和7年度河南町一般会計補正予算（第2号）		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
町有3施設 除却工事の工事請負契約について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

秋田県湯沢市議会 が行政視察に来庁



5月8日に、秋田県湯沢市議会（産業建設常任委員会）が地域通貨の視察のために来庁されました。本町議会からは、正・副議長と総務建設常任委員会（正・副委員長）が対応しました。

担当課から本町のカナちゃんコインの事業内容や、事業導入に至るまでの経緯などが説明され、湯沢市議会の全委員から質問が出るなど、活発な意見交換が行われました。

給食センターで 学校給食を試食



6月26日に、議員で給食センターを視察しました。会議室のガラス越しに給食を作っている様子や、調理器具、センターの処理施設を見学。

試食会では、当日の献立について栄養士から栄養バランスや味付け、調理方法について説明を受けました。

